

平成14年4月20日

厚生労働省医薬局  
血液対策課課長  
鈴木 英明 様

日本未熟児新生児学会  
理事長 戸苅



拝啓

日頃は何かご指導賜りありがとうございます。

さて、3月1日付けにてご照会頂きました「保存前白血球除去に伴う1単位及び2単位血小板製剤の供給中止について」の件ですが、理事会として意見がまとまりましたのでご報告申し上げます。

敬具

記

感染の危険が少なく効率的であるのならば、1単位及び2単位血小板製剤の供給中止はやむを得ないものと考えます。

しかしこれは、現在でも、5単位もしくは10単位製剤しか入手できないという状況からの消極的賛成が大半であり、種々の要望が各理事より寄せられましたので、併せて今後のご検討をお願い申し上げます。

主な要望点

- ・使用上及び診療報酬上の不利益が、新たに発生しないよう徹底していただきたい。
- ・5単位製剤も入手しにくいのが現状。せめて5単位製剤常備の指導をお願いしたい。
- ・残余処分が残念。今後、小単位製剤の開発を検討いただきたい。

以上